

## 鳩山由紀夫総理大臣が1月17日に神戸医療産業都市構想を視察

平成22年1月17日（日）、鳩山由紀夫首相が神戸医療産業都市構想の中核施設、先端医療センター・理化学研究所（ポートアイランド第2期）を視察された。

まず神戸キメックセンタービル10階展望ロビーにおいて、先端医療振興財団井村裕夫理事長と矢田立郎市長から、神戸医療産業都市構想の概要及び先端医療センターの取り組みなどの紹介があり、鳩山首相は特に同センターの眼の角膜再生や高精度放射線治療装置など、先端医療の研究開発に関心を示されていた。続いて、先端医療センターを訪問され、脳梗塞など脳神経疾患について、先端医療センター西尾利一病院長と脳血管内治療科坂井信幸部長から脳血管造影装置を用いた最新の治療技術・機器開発などの説明があった。

次に、理化学研究所発生・再生科学総合研究センターを訪れ、大熊健司理事と竹市雅俊センター長から同センターの取り組みについて紹介があった。また、研究室では、笹井芳樹グループディレクターから、ES細胞・iPS細胞研究の概要説明後、ES細胞から層構造を持った大脳皮質の産生成功について、さらに高橋政代チームリーダーから網膜再生治療につながるiPS細胞研究など、最新の研究成果について説明があり、首相は熱心に耳を傾けておられた。

視察を終えられた首相は、「大震災で多くの命が失われた神戸の地で、命をよみがえらせる研究が進んでいることは未来への大きな希望」などとの感想を述べられた。



（キメックセンタービル10階展望ロビー）



（理化学研究所発生・再生科学総合研究センター）